

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	勤労者福利厚生事業	コード	31101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 経済部	課等 工業振興課	作成者 小口喜照
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	勤労者対策の推進	施策	勤労者福祉の充実
		予算科目	勤労者福祉対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	勤労者の福祉向上及び生活安定を図るとともに、勤労者福祉推進団体の強化育成を行う。	
目的	対象者	市内在住の勤労者、市内で働く勤労者
	意図	福利厚生面から勤労者を支えること。日常生活の向上に低利な融資の提供。

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
●勤労者生活資金融資	長野県労働金庫諏訪湖支店との協調により、生活資金融資の斡旋を実施 融資利率 変動式または固定式の選択 変動式は、労金商品より0.01%低く設定（介護資金は0.03%低く） 限度額 2,000,000円 償還期間10年以内 25年度中の新規貸付 件 年度末融資残高 円
●勤労者福祉推進団体育成	一般財団法人諏訪湖勤労者福祉サービスセンターへの加入促進PR。 共催事業（定年準備セミナー）の実施。
前年度の課題への対応	以前は少なかったが、最近の貸付状況は一定の実績が出てきている。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	生活資金融資申し込み件数			単位 件
実績値	1	34	29	
*指標の説明	生活資金融資の申し込み件数			
② 成果指標（指標名）	生活資金融資金額			単位 円
目標値	11,750,000	20,000,000	50,000,000	50,000,000
実績値	1,730,000	37,880,000	35,100,000	
達成度	14.7%	189.4%	70.2%	
*指標の説明	生活資金融資の金額			
*目標値の設定方法の説明	実績値			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	94,904,000	94,832,000	84,688,000	74,652,000
経常経費	94,904,000	94,832,000	84,688,000	74,652,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト(①+②)	95,704,000	95,632,000	85,488,000	75,452,000
前年度比		99.9%	89.4%	88.3%
財源内訳				
一般財源	95,704,000	95,632,000	85,488,000	75,452,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	95,704,000	2,812,706	2,947,862	
前年度比		2.9%	104.8%	
⑤ コストに関する補足説明	労働金庫預託金と諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金の合算			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金	件数	1	1	1	1
	金額	14,904,000	14,832,000	14,688,000	14,652,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	14,904,000	14,832,000	14,688,000	14,652,000
	割合	15.70%	15.64%	17.34%	19.63%

\* 行が足りない場合は追加してください

● 事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	92.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	70.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	協調融資については、預託倍率2.5倍の預託金により80,000,000円×2.5=200,000,000円の貸付ができるが実際には56,000,000円に留まっており、預託金の額に見合った実行となっていない。 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員の維持、獲得	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	利用状況は確実に伸びているので制度の利用を促す周知活動をさらに強化する。 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターでは加入推進員を継続配置している。	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---